

事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績並びに税導入の効果
		うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	うち他の財源（千円）		
意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林環境譲与税全体計画策定業務	1,314	1,314	令和6年度から森林環境税の賦課徴収が開始される前に、森林経営管理制度による森林整備を実施していく上での民有林全体の森林整備計画を策定する必要がある。特に甲州市においては民有林面積が広大である為、優先順位付けが着実に事業成果をあげていく為に必要である。各林班の筆数が非常に多く筆ごとの調査が必要となることから令和3年度、令和4年度の2か年で計画を策定する。	<p>【実績】 税の活用により、森林経営管理制度に基づく、森林整備についてモデル的ではあるが意向調査から実際に間伐までの一連の流れを実施することが可能となった。</p> <p>【詳細】 わが市においては人口減少の状況にあり、森林の荒廃が懸念されており森林経営管理制度の活用により森林整備を促進することに取り組んでいる。 森林経営管理制度については、新たに創設された制度であり、わが市においてもノウハウの確立が急務であったことから、一連の事業の流れをつかむことにより、次年度以降に生かすことが可能となった。 令和2年度、令和3年度と取組を行ってきたことで様々な課題点が分かってきたので次年度意向についてはこの課題点を見直しつつ事業拡大を図っていく予定である。</p> <p>令和4年度には森林経営管理制度の全体計画を策定することにより、森林整備の整備エリアごとに優先順位を把握し、森林整備を効率的に事業実施していくことで森林の有する公益的機能の発揮につなげていく。 残額は、令和4年度以降の森林整備事業等に使用するため積み立てた。</p>
意向調査、集積計画等作成	森林環境譲与税意向調査関係業務	2,406	2,406	令和2年度から森林経営管理制度に基づく森林整備をモデル的に実施してきた。令和3年度は、前年度の意向調査の結果、市へ管理を任せたいと意向を示した対象森林について現地調査を行い、経営には向かないが間伐が必要な箇所について集積計画を作成して土地所有者から同意を取り付けた。また前年度に意向調査を実施した隣接地を新たな調査箇所として意向調査を実施した。	
私有林整備	森林環境譲与税森林整備業務	462	462	令和3年度中に集積計画を立てた箇所について、1.51haの間伐を実施した。	
基金積立（森林整備等）	甲州市森林管理基金積立	9,335	9,335	令和3年度中に集積計画まで立てたが間伐実施までの期間が短かった為、一部事業を繰越した。 また、森林経営管理法に基づく意向調査の全体計画を樹立後に効率的な森林整備が実施可能となることが想定されるため、基金に積立を行った。	